

株主・投資家の皆様へ

第68期

## 期末報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

Steel

Non-Ferrous Metals

Metals and Alloys

### Contents

- P1-2 トップメッセージ
- P3-4 セグメント別の概況
- P5-6 当期の出来事
- P7 駐在員レポート
- P8 グループ会社紹介
- P9 連結決算ハイライト
- P10 連結財務諸表
- P11-12 会社データ
- P13 株式データ
- P14 お知らせ



阪和興業株式会社

(証券コード:8078)

# 株主・投資家の 皆様へ

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

阪和グループは平成27年3月31日をもちまして、第68期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成27年6月



代表取締役会長 北 修爾

代表取締役社長 古川 弘成

### ■ 当期の経済環境について

当期の世界経済は、米国では総じて上向きに推移し、金融緩和の縮小時期をうかがう状況となりました。反面、欧州の景気には停滞感があり、ソプリリスクへの懸念もありました。また、中国では安定成長への移行方針の下で経済成長が鈍化し、他の新興諸国でも金融環境の変化や政治的・地政学的な問題の影響により経済が変動するなど全体的にまだら模様の状態が続きました。

一方、国内経済は、アベノミクスや日本銀行による金融緩和の効果により景気回復基調は維持されたものの、人手不足やそれに伴う費用の上昇などによる建設投資の停滞や、消費税率アップに伴う駆け込み需要の反動とその後の消費減退の長期化などにより、踊り場的な状況にありました。

### ■ 当期の連結業績の概況について

このような環境において、当期の売上高は、鉄鋼事業や金属原料事業の増収などにより、前期比3.3%増の1兆7,373億97百万円となりました。また利益面では、営業利益は金属原料事業などの増益が寄与して、前期比17.6%増の191億7百万円となったものの、経常利益は為替差損に下押しされて、前期比3.0%減の142億64百万円となりました。一方、当期純利益は過年度に評価損を計上した不動産の譲渡に伴う課税所得の減少により法人税等が減少したことなどから、前期比15.1%増の90億86百万円となりました。

# 着実な実行で、持続的な成長を追求します。

## ■ 来期の連結業績の見通しについて

米国経済は緩やかな回復軌道にあります。欧州経済の先行きには不透明感があります。また、中国経済も景気拡大のテンポは緩やかになっており、これまでの不動産・金融バブルへの反動も懸念されるなど、世界経済は不透明な状況が続くと予想されます。

国内経済は、個人消費の停滞が想定より長引いていることや、為替の円安によるマイナス影響も懸念されます。また、建設分野では人手不足の影響を受けて短期間での大幅な需要の顕在化は望みにくい状況です。

このような事業環境の中で、当社グループは各事業分野の需要動向を的確に把握し、取引先のニーズを反映した適切な販売・在庫政策を進め、新規取引先を積極的に開拓することにより、業績の維持・向上に注力していく所存です。

これらを踏まえ、来期の連結業績は、売上高1兆8,000億円（前期比3.6%増）、営業利益223億円（同16.7%増）、経常利益200億円（同40.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益120億円（同32.1%増）を見込んでいます。

## ■ 今後の経営課題について

当社グループは平成25年5月に、「中期経営計画（平成25年度～平成27年度）」を策定いたしました。「中長期的な国内外市場の変化を見据えた事業構築と経営基盤の強化を目指す。」をテーマに、平成28年3月期の業績目標を売上高1兆8,000億円、経常利益150億

円としてスタートしましたが、順調に進捗しています。

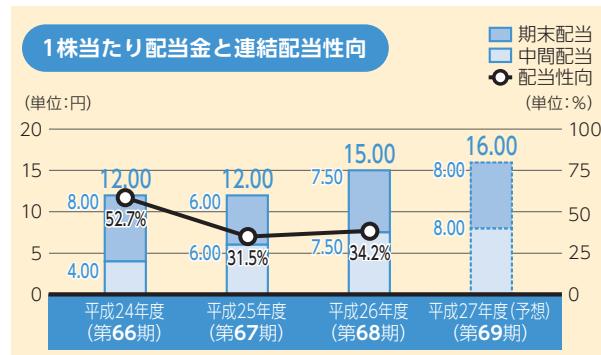
企業戦略の骨子には、「ユーザー系スタンスの徹底」「企業活動の多様化」「グループ体経営の推進」を掲げ、メーカー・サプライヤーからユーザーにいたるバリューチェーンの中で全体最適を目指す「共鳴型経営」を追求していきます。



## ■ 株主・投資家の皆様へ

当社グループとしましては、今後、これらの事業戦略を継続して実行していくことで、グループ全体の総合的な企業価値の向上と持続的な企業成長を実現させ、顧客満足の上昇を図り、合わせて社会貢献にも目配りしてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## セグメント別の概況

### 鉄鋼事業



#### ●主な取扱品目

異形棒鋼、H形鋼、平鋼、一般形鋼、各種建設工事、厚板、薄板、表面処理鋼板、線材、特殊鋼、鋼管、ステンレス、製鋼原料

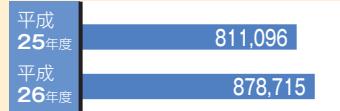
8,787  
億円



建設分野では人手不足等の影響による工事進捗の遅れや工事の延期等により鋼材の荷動きが停滞しましたが、製造業向けの需要は概ね堅調な推移となりました。また、鋼材市況は低調なスポット需要や鉄鋼原料の価格下落を反映して、年度を通じて下げ基調での推移とはなったものの、比較的小幅な下げに留まりました。

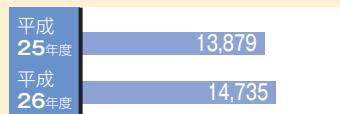
#### ●売上高

(単位:百万円)



#### ●セグメント利益

(単位:百万円)



### 金属原料事業



#### ●主な取扱品目

ニッケル、クロム、シリコン、マンガン、ステンレス屑、チタン、各種合金鉄

1,311  
億円



インドネシアの鉱石禁輸措置等の影響を受けて急騰したニッケルやステンレススクラップの価格は、当第3四半期連結会計期間以降には下げ基調に転じましたが、為替の円安による円貨額の上昇もあり、販売価格を押し上げました。一方、利益面では外貨建債務に対する為替差損の発生が利益を下押ししました。

#### ●売上高

(単位:百万円)



#### ●セグメント利益

(単位:百万円)



### 非鉄金属事業



#### ●主な取扱品目

アルミニウム、銅、亜鉛、鉛、黄銅、貴金属屑

833  
億円



銅の国際商品価格は中国での需要停滞から低迷が続いたものの、アルミニウムについては国内需要も堅調で、原油価格の暴落の影響を受けるまでは上昇基調で推移し、円安による効果も相まって販売価格を押し上げました。また、貴金属屑類の拡販を進めたことも収益に貢献しました。

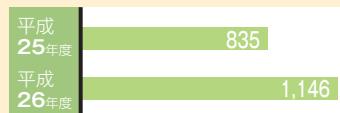
#### ●売上高

(単位:百万円)



#### ●セグメント利益

(単位:百万円)



(注) グラフの数字は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んだ売上高を表しております。

## 食品事業



876  
億円



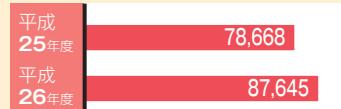
### ●主な取扱品目

サケ、エビ、タコ、サバ、アジ、ニシン、シシャモ、カニ、カズノコ、水産加工品、鶏肉

価格面では前期からのエビやサケなど主力魚種の価格高騰に加え、円安の影響により他魚種も含めて前期より高い水準で推移しました。一方、高水準の価格を嫌気して国内需要が低調に推移したことによる販売量の減少や前期に収益に貢献したサケやエビの価格が値下げに転じたことから、利幅は縮小しました。

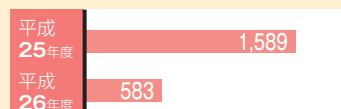
### ●売上高

(単位:百万円)



### ●セグメント利益

(単位:百万円)



## 石油・化成品事業



4,299  
億円



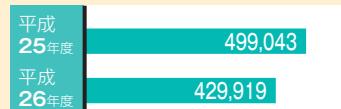
### ●主な取扱品目

船用石油、重油、軽油、灯油、ガソリン、LPG、合成樹脂、プラスチック製品、故紙、バイオマス燃料、廃棄物固形燃料

石油製品需要が世界的に低迷する中で、原油市況が年央から急落し、製品価格も下落しました。産業用燃料などの需要も依然として低迷し、収益の取りづらい環境が続きましたが、ガソリンや電力向け重油の拡販が落ち込みをカバーしました。

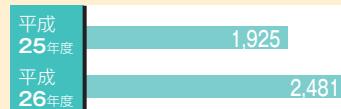
### ●売上高

(単位:百万円)



### ●セグメント利益

(単位:百万円)



## その他の事業



2,423  
億円



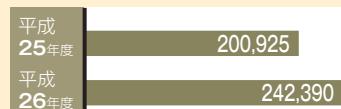
### ●主な取扱品目

<木材> 住宅用製材品、各種合板  
<機械> レジャー施設用遊戯機械、各種産業機械、環境関連機械

その他の事業の売上高は前期比で増収となりました。セグメント損益は機械事業でのレジャー機械の販売収益などにより、前期比で増益となりました。

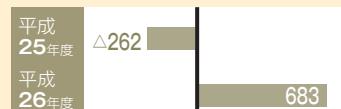
### ●売上高

(単位:百万円)



### ●セグメント損益

(単位:百万円)



# 当期の出来事

一年間のトピックスをご紹介します。国内のみならず、グローバルな事業展開を積極的に進めるとともに、経営の革新を目指す、当社の取り組みをご覧ください。

## 丸本本間水産株式会社を子会社化

当社は、北海道札幌市の水産物卸売会社、丸本本間水産株式会社の株式97%を取得し子会社としました。

同社は昭和43年の設立で、水産物の卸売業に加えて水産物加工業という業態を開拓してきました。味付け数の子の手大メーカーであり、平成26年1月期の売上高は14億円です。なお、社名は変更せず従業員を引き継ぎ、従前の本社を継続して拠点とします。



丸本本間水産株式会社 外観



加工ライン

平成26年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

## インドネシアの ニッケル銑鉄製造メーカーへ出資



現地で行われた式典

当社は、中国大手ステンレスメーカーの青山鋼鉄集団がインドネシア・スラウェシ島で主導する、ニッケル銑鉄プロジェクトに資本参加しました。

第2期プロジェクトより発足する新会社の立ち上げから参画し、平成28年1~3月の生産開始を目標に、年間6万トンの生産を予定しています。

## 日興金属株式会社へ出資

当社は、福岡県北九州市の特殊金属・非鉄金属リサイクル会社、日興金属株式会社の株式20%を取得するとともに、役員1名を派遣しました。

同社は平成3年の設立で、九州および中国エリアを中心に、リサイクル事業を手がけてきました。平成26年4月期の売上高は29億円です。今後、当社の金属リサイクル部門とのシナジーにより、事業の拡大を図っていきます。



日興金属株式会社 本社ヤード

## シンガポールの COSMOSTEEL社へ出資

当社は、シンガポールを拠点に東南アジアを中心に鉄鋼流通を手がけるCOSMOSTEEL HOLDINGS LIMITEDへ出資しました。

同社は昭和59年の設立で、平成19年にシンガポール証券取引所に上場しています。当社は、第三者割当増資引受と創業者持分の譲受により、COSMOSTEEL社の株式28.45%を取得しました。これにより、両社間で戦略的な提携関係を築いていきます。今回の出資を契機に、当社は「もう一つの阪和をアジアに」の具現化を目指して、事業の拡大を進めていきます。

## 福山営業所を開設

当社は、地域に密着した営業体制の強化を目指し、福山営業所を開設しました。当社中国支店初の営業所として、主に備後地区の鋼材需要にきめ細かく対応し、一層の取引拡大に努めていきます。

住所：広島県福山市延広町1-25  
明治安田生命福山駅前ビル8階  
電話：084-973-5701



入居ビル

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

平成27年

## いわき事務所を開設



入居ビル

住所：福島県いわき市平字白銀町5-7  
ZENSHO白銀ビル3階  
電話：0246-35-6585

## 東京本社を移転

当社は、東京本社移転に伴い、平成27年1月5日より下記において営業を開始しています。

今後とも、より一層のお引き立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

所在地：〒104-8429  
東京都中央区築地一丁目13番1号  
銀座松竹スクエア  
代表電話番号：03-3544-2171  
(電話・ファックス番号の変更はございません。)

最寄駅：東銀座駅(日比谷線・浅草線)  
築地駅(日比谷線)



銀座松竹スクエア

## ～米国・シカゴからの報告～

世界各地に広がる当社の海外拠点をシリーズで紹介する「駐在員レポート」。今回は米国・シカゴからの報告です。米国の中西部に位置するシカゴは人口数が全米第3位の大都市。自動車産業の発展にともなって成長し、現在は製造業や小売業などの拠点となっています。



グラント・パークのバックingham噴水



事務所スタッフ



入居ビル

### 産業や文化、スポーツが盛んな街

米国の五大湖の一つであるミシガン湖の南西部、ミシシッピ川の河口に位置するシカゴは、建国以来様々な国から多数の移民が集まったことで、産業や文化、スポーツが盛んな街として発展してきました。20世紀前半の禁酒法の時代、ギャングだったアル・カポネとFBI捜査官が対立した街としても知られています。現在、街を見渡すと、摩天楼と称される世界有数の高層ビル群が目を引き、米国を代表する都市を象徴しています。

### 米国現地法人の第5番目の拠点

シカゴは鉄鋼の街としても有名です。19世紀の後半以降、鉄鋼業の一大拠点として成長を遂げました。当社は平成26年3月、この街に「HANWA AMERICAN CORP.」の第5番目となる事務所を開設しました。4人のスタッフは北米鉄鋼マーケットに精通したベテランぞろい。米国サービスセンター向けにステンレス鋼や炭素鋼などを販売しています。自動車産業を始め、各種製造業が集積するシカゴに営業の拠点を設けたことで、今後、鉄鋼製品の市場を積極的に開拓していきます。

### お勧め スポット

### プロスポーツの一大拠点として熱い街

シカゴはスポーツ好きにとって魅力いっぱいの街です。野球なら「カブズ」と「ホワイトソックス」、アメフトの「ベアーズ」、バスケットボールの「ブルズ」、アイスホッケーの「ブラックホックス」と、4大スポーツの有名チームが揃っていて、一年を通して様々なスポーツ観戦を楽しむことができます。それぞれのチームを熱烈なファンが支えていて、試合ではシカゴならではの熱い応援を観ることができます。シカゴに来られた際はぜひスポーツ観戦をお楽しみください。



Group  
Company  
グループ会社紹介

チタン・ニッケルを中心とした  
レアメタルスクラップのリサイクルプロセッサー

# 昭和メタル株式会社



本年、創業30周年を迎える昭和メタル株式会社は、川崎本社と袖ヶ浦ヤードの2拠点で、ニッケルを中心にタングステン、モリブデン、コバルトといったレアメタルスクラップのリサイクル加工を行っています。また、新潟県上越市の直江津事業所ではチタンスクラップを専門に取り扱っています。

当社の強みは、大手ステンレス・特殊鋼メーカー、さらにチタンインゴットメーカーの溶解再生原料として、確かな検収能力と、高い品質管理能力です。

国内で発生したスクラップはもちろん、平成22年に阪和グループに加わって以降は、阪和興業の海外拠点を最大限活用し、スクラップの輸出入も活発に行っています。なかでもチタンスクラップのリサイクル処理はアジアでもトップクラスの規模を誇ります。

今後も限りある金属資源の最大活用を理念に、お客様の变化するニーズにしっかりと応え、日々品質向上を図るとともに、グローバルな事業展開にも一層力を注いでいきます。



川崎本社ヤード（レアメタルスクラップ）

## 会社の概要（平成27年3月31日現在）

創 業 昭和60年5月  
資 本 金 2,000万円  
年 商 120億円  
社 員 数 82名  
本 社 〒210-0869 川崎市川崎区東扇島6-26  
T E L 044-277-1431  
U R L <http://www.sk-showa.co.jp>



直江津事業所（チタンスクラップ専業）

## 代表者からのメッセージ



代表取締役社長  
吉岡 健

本年は、Vision (V) として「現場力を武器に、バネのある高機能会社に」、さらにWork (W) として「ユーザーの要求に全社一体で応える」を、社長方針として掲げました。現場・営業・業務が一体となってV&Wを実践し、業容の拡大に邁進してまいります。

# 連結決算ハイライト

## 売上高

(単位:億円)



## 営業利益

(単位:億円)



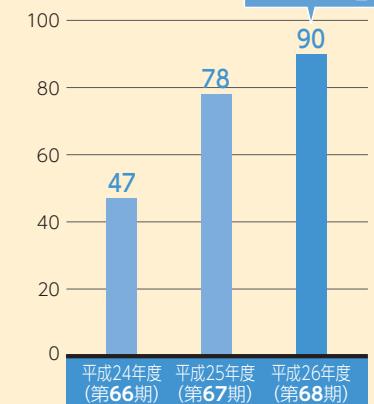
## 経常利益

(単位:億円)



## 当期純利益

(単位:億円)



## 1株当たり当期純利益

(単位:円)



## 1株当たり純資産

(単位:円)



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当連結会計年度 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	468,325	510,377
固定資産	125,025	141,078
<b>資産合計</b>	<b>593,351</b>	<b>651,456</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	319,361	342,196
固定負債	148,628	166,510
<b>負債合計</b>	<b>467,989</b>	<b>508,706</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	120,733	126,320
その他の包括利益累計額	1,875	15,094
少数株主持分	2,752	1,334
<b>純資産合計</b>	<b>125,361</b>	<b>142,749</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>593,351</b>	<b>651,456</b>

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>1,682,503</b>	<b>1,737,397</b>
売上原価	1,631,138	1,681,667
売上総利益	51,365	55,729
販売費及び一般管理費	35,112	36,622
<b>営業利益</b>	<b>16,252</b>	<b>19,107</b>
営業外収益	2,766	2,398
営業外費用	4,321	7,241
<b>経常利益</b>	<b>14,698</b>	<b>14,264</b>
特別利益	187	128
特別損失	896	1,374
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>13,988</b>	<b>13,018</b>
法人税等	5,986	3,876
少数株主利益	105	55
<b>当期純利益</b>	<b>7,896</b>	<b>9,086</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	343	1,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,244	△13,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,927	19,339
現金及び現金同等物の期末残高	15,919	24,515

## 会社の概要 (平成27年3月31日現在)

社 名 阪和興業株式会社  
 英文社名 HANWA CO., LTD.  
 設 立 昭和22年4月1日

資 本 金 456億5,127万6,790円  
 従 業 員 数 1,169名(連結 2,772名)

## 役員・執行役員 (第68回定時株主総会終了後)

### 取締役

代表取締役会長	北 修爾
代表取締役社長	古川 弘成
取締役 副社長執行役員	川西 英夫
取締役 副社長執行役員	芹澤 浩
取締役 専務執行役員	小笠原朗彦
取締役 専務執行役員	森口 淳宏
取締役 専務執行役員	十川 直之
取締役 (※1)	関 收
取締役 (※1)	堀 龍兒
取締役 常務執行役員	加藤 恭道
取締役 常務執行役員	松岡 良明
取締役 執行役員	山本 浩雅
取締役 執行役員	畠中 康司
取締役 執行役員	長嶋日出海
取締役 執行役員	中川 洋一

(※1) は社外取締役であります。

### 監査役

常勤監査役 (常任)	江島 洋一
常勤監査役 (常任)	岡田 和彦
監査役 (※2)	名出 康雄
監査役 (※2)	我妻 廣繁
監査役 (※2)	大久保克則

(※2) は社外監査役であります。

### 取締役を兼務しない執行役員

専務執行役員	海老原 弘
執行役員	口石 隆敏
執行役員	山辺 厚三
執行役員	倉田 泰晴
執行役員	出利葉知郎
執行役員	寺田 利三
執行役員	木水 勲
執行役員	立木 恒雄
執行役員	篠山 陽一
執行役員	小林 秀雄
執行役員	松原 圭司

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新の会社ニュースやIR情報、詳しい事業内容など、当社をご理解いただくための様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.hanwa.co.jp>

阪和興業

検索



▲トップページ



▲投資家情報

## ■ 主な事業所 (平成27年3月31日現在)

### 国内

**本社** 大阪本社(大阪市中央区)、東京本社(東京都中央区)

**支社** 名古屋支社(名古屋市東区)

**支店** 北海道支店(札幌市中央区)、東北支店(仙台市青葉区)、  
新潟支店(新潟市中央区)、中国支店(広島市中区)、  
九州支店(福岡市博多区)

**営業所** 北関東営業所(高崎市)、水戸営業所、厚木営業所、  
静岡営業所、岡山営業所、沖縄営業所(那覇市)、  
福山営業所  
\*平成27年4月1日、福山営業所を開設いたしました。

**事務所** 八戸事務所、いわき事務所、北陸事務所(射水市)

### 海外

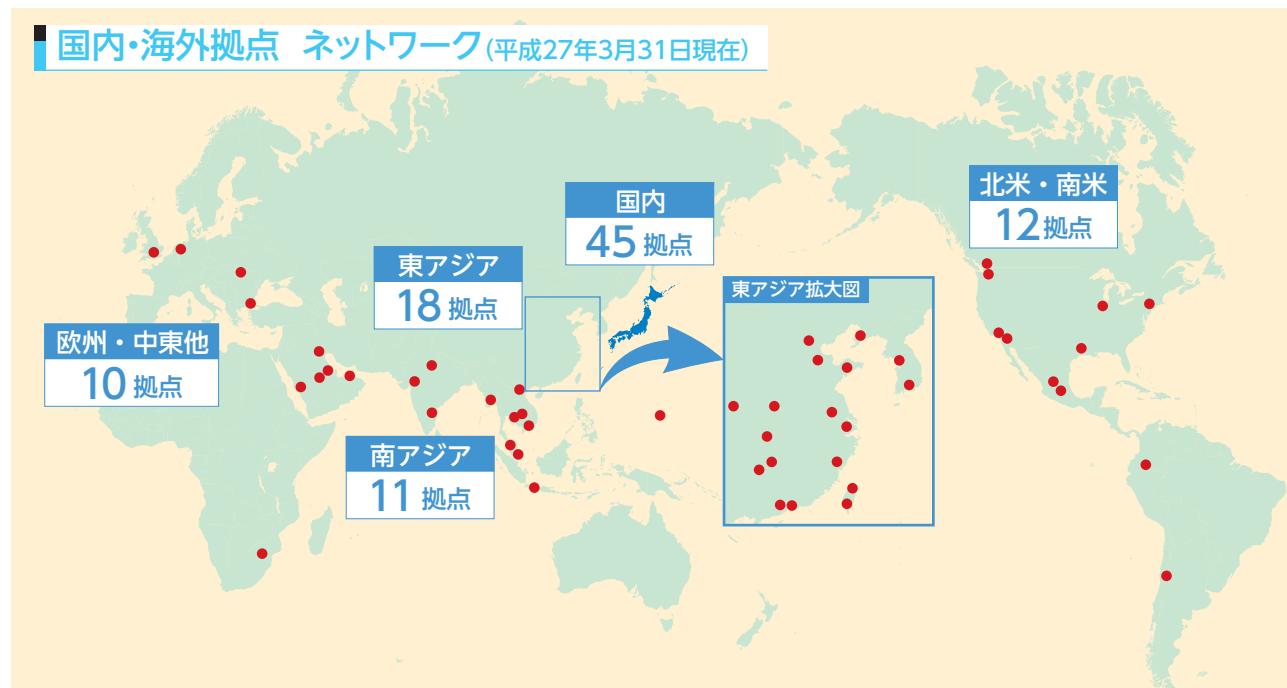
**支店** ロンドン支店、ヨハネスブルグ支店

**事務所** ボゴタ事務所(コロンビア)、ヤンゴン事務所(ミャンマー)

**現地法人** HANWA AMERICAN CORP.(米国)、  
阪和(上海)管理有限公司(中国)、  
阪和(香港)有限公司(中国)、  
HANWA THAILAND CO., LTD.(タイ)、  
HANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD.(シンガポール)、  
台湾阪和興業股份有限公司(台湾)、  
HANWA EUROPE B.V.(オランダ)  
等20か国21法人41か所

(注) 上記の他、国内外に当社グループの事業所、工場等があります。

## ■ 国内・海外拠点 ネットワーク (平成27年3月31日現在)



(注) 国内拠点…当社グループの会社数を含む。  
(注) 海外拠点…当社グループの事業拠点を含む。

## 株式の状況

発行可能株式総数	570,000,000株
発行済株式の総数	211,663,200株
株主数	12,120名(前期末比892名増)

## 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,323	6.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,695	5.16
株式会社三井住友銀行	7,630	3.68
阪和興業取引先持株会	7,478	3.61
阪和興業社員持株会	4,935	2.38
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,184	2.02
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	3,151	1.52
新日鐵住金株式会社	3,001	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,877	1.39
第一生命保険株式会社	2,614	1.26

(注)上記のほか、当社は自己株式4,449,160株を保有しており、持株比率は当該自己株式を控除して計算しております。

## 株式分布状況 (所有者別)

### 自己名義株式

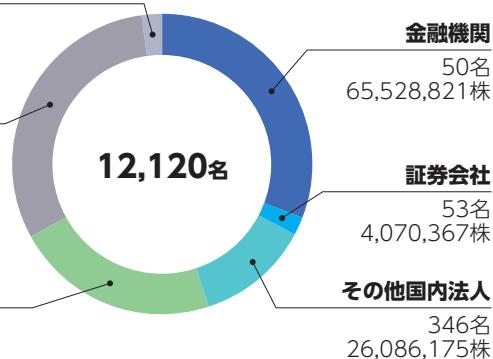
1名  
4,449,160株

### 個人・その他

11,474名  
65,971,694株

### 外国人

196名  
45,556,983株



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	その他必要があるときは、予め公告して定めた日	

**公告方法** 当社のホームページに掲載いたします。  
(<http://www.hanwa.co.jp/koukoku/index.html>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

**株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**電話照会先** ☎ 0120-782-031

**インターネットホームページURL**  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

**単元株式数** 1,000株

**上場証券取引所** 東京証券取引所 市場第一部

**証券コード** 8078

### <株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会>

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、同信託銀行の上記電話照会先までご連絡ください。

# お知らせ

## 大阪本社移転のお知らせ

大阪本社ビルは建替完了に伴い、本年8月中旬より下記に移転します。グループ会社を同じビルに集約し、業務の一層の効率化を図ります。今後とも末永くお引き立てくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<大阪本社>

〒541-8585

大阪市中央区伏見町四丁目3番9号  
HK淀屋橋ガーデンアベニュー

代表電話番号：06-7525-5000

アクセス：地下鉄 御堂筋線  
淀屋橋駅 13番出口



## 上場株式等の配当等に係る10% (所得税7%、住民税3%) 軽減税率の廃止について

平成26年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、**本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。**

また、平成25年1月1日から平成49年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行されており、**その所得税額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。**

そのため、株式等の配当等もその源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

上場株式等の  
配当等に係る  
源泉徴収税率

配当等の支払開始日	平成26年1月1日～平成49年12月31日	平成50年1月1日～
上場株式等の配当等の税率	<b>20.315%</b> (内訳) 所得税15%+復興特別所得税0.315%* 住民税 5%	<b>20%</b> (内訳) 所得税15% 住民税 5%

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%  
本ご案内は、平成26年1月時点の情報をもとに作成しています。



*Other Business*

*Petroleum and Chemicals*

*Food Products*

**HANWA**co., LTD.  
<http://www.hanwa.co.jp>

東京本社 03-3544-2000  
大阪本社 06-7525-5000